

令和7年度 **国** **語** (50分)

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 この問題冊子は29ページである。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
  - ・①氏名欄  
氏名を記入すること。
  - ・②受験番号、③生年月日、④受験地欄  
受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。
- 4 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、



と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答番号	解 答 欄				
10	①	②	③	④	⑤

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

問題は、次のページから始まります。

国語

解答番号

1

25

1

栗竹高校生徒会は、地元の栗竹東公民館が主催する「公民館まつり」に参加することになった。次の【話合いの一部】は、その出店内容について生徒会役員が話し合っている場面である。これを読んで、問1～問5に答えよ。

【話合いの一部】

相沢さん① 先日、栗竹東公民館の公民館まつり実行委員会の役員さんたちと打合せをしました。出店の企画は自由に考えていいそうです。最終的な企画書の提出までは一カ月ありますが、それまでに出店の内容や必要な物品、運営にかかわる人員等について決めなくてはなりません。まず内容を決めたいと思います。出店内容について何か意見はありますか。

中山さん① 私は、小学生を中心に人気を集められるような内容がいいと思います。数年前に私も公民館まつりに行ったことがあるのですが、大人の方が多く、小学生の姿があまり見られなかったからです。

相沢さん② どんな内容だったら、小学生に面白いと思ってもらえるでしょうか。

立原さん① ゼロから考えるには時間もないので、今年の文化祭での各クラスの出し物を参考にしたらいいのではないのでしょうか。

中山さん② 子どもたちに人気があったのは、お客さんを自作のトロッコに乗せて、色々な絵が描かれているコースの中を、生徒が押して進むアトラクションでしたね。あれはどうですか。

浜口さん① いいですね。でも、安全性は保たれていたのでしょうか。

中山さん③ コースの作り方やトロッコの押し方を工夫していたので、安全性には問題がなかったようですよ。トロッコは<sup>(ア)</sup>ガンジヨウでとてもよくできていたので、文化祭の後も解体せずに生徒会倉庫に保管してあります。あれがそのまま使えると思います。

佐伯さん① 他には、的当てゲームやクイズに子どもたちが集まっています。トロッコに乗って移動しながら的当てゲームをしたりクイズに答えたりするのはどうでしょう。

立原さん② トロッコが進むコースに、的当てゲームやクイズコーナーを設置するとすると、広いスペースが必要になりますね。

中山さん④ 公民館には大会議室があるから、あそこを使わせてもらえばいいと思います。

柿元さん① 大会議室は別の団体が使うことになってるので使えません。私たちが使えるのは公民館の駐車場です。

中山さん⑤ そうか、残念だなあ。でも、スペースは十分にとれそうだから、駐車場でもできそうですね。

相沢さん③ いや、ごめんなさい。実は場所も決まっているんですよ。

柿元さん② 使える場所はテント二張り分を予定しているということでした。

浜口さん② そういうことは最初に言ってくださいよ。

中山さん⑥ じゃあ、そもそもこの内容での出店は無理ということになりませんか。

柿元さん③ 先日打合せのときに見た図面では、駐車場のスペースにはヨユウ<sup>(1)</sup>があったので、お願いをすれば広げてもらえるかもしれません。

立原さん③ テント六張り分は必要だと思います。

柿元さん④ では、広さについては早速交渉してみましよう。

浜口さん③ テントは公民館から借りられるのでしょうか。

柿元さん⑤ テントについては公民館に隣接している栗竹東小学校から実行委員会が借りてくれる<sup>B</sup>そうです。それから、公民館の備品も借りること

とができます。そのときは、借借書を出すように言われました。

浜口さん④ 借りられるものはいいけど、購入しなければならぬものはどうしますか。生徒会本部費でまかなえるかどうか……。

柿元さん⑥ 購入する物品等は、実行委員会の予算の中から支出することになるので、相談してほしいとのこと。

浜口さん⑤ 実際にはどれくらい費用がかかりますか、文化祭での各クラスの会計記録を見て算出した方がいいですね。

相沢さん④ では、これまでの話をまとめますね。内容については、広さを確保できるか交渉することを前提として、トロッコにお客さんに乗せて移動しながら的当てゲームやクイズをする。テントは実行委員会を通じて借りる。以上でよろしいでしょうか。

佐伯さん② これが実現できたら結構面白いと思いますね。でも、そのためにはたくさんの方の協力が必要ですね。

相沢さん⑤ 運営にはボランティアとして参加してくれる人を全校生徒から募集したいと考えています。まづり当日の一週間前までに学校に校外

活動許可願を提出するための名簿を作成しなくてはならないので、それまでに参加者を決定するつもりです。

中山さん⑦ ボランティアを募集するために、ポスターを作って全校生徒に呼びかけましよう。

相沢さん⑥では、ボランティアを募るための校内掲示用のポスターの原案を私が作りますので、後で一緒に検討してください。今日は私の進行に不手際があつて、皆さんにご迷惑をおかけしました。次回からは気を付けます。ありがとうございました。

問1 傍線部(ア)、(イ)に当たる漢字と同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は  ・  。

(ア) ガン|ジヨウ

- ① 年の初めの日をガ|ンタンという。
- ② ガ|ングで遊ぶ。
- ③ ガ|ンコな性格。
- ④ 金儲けなどガ|ンチュウにない。
- ⑤ 水分のガ|ンチュウ率。

(イ) ヨ|ユウ

- ① メイ|ヨある地位。
- ② 老後のためのヨ|キン。
- ③ タイ|ヨされた制服。
- ④ 感染症のヨ|ボウ。
- ⑤ しみじみとしたヨ|ジョウ表現。

問2 傍線部A トロッコに乗って移動しながら的当てゲームをしたりクイズに答えたりするのはどうでしょう。とあるが、この発言について説明

したものと最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

- ① 中山さん②の意見に一部賛成しつつも、より安全性の高い内容にするアイデアを提案している。
- ② 中山さん②の意見に反対であることを示すために、中山さんの提案とは異なる内容を提案している。
- ③ 中山さん②の意見の危険性を指摘して、自らの経験を根拠とした具体的な実施方法を提案している。
- ④ 中山さん②の意見に新たなアイデアを加えることで、充実した出店内容になるよう提案している。
- ⑤ 中山さん②の意見とは異なる内容も考えられることを示し、比較して決めることを提案している。

問3 傍線部B くれる を尊敬語にしたものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 4。

- ① いただける
- ② くださる
- ③ もらえる
- ④ さしあげる
- ⑤ いらっしゃる

問4 【話合いの一部】において、話合いの進行役としての相沢さんが改善すべきこととして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 5。

- ① 話合いを円滑に進めるため、打合せでの決定事項を生徒会役員全員に伝え、共通理解を得てから話合いに入るべきであった。
- ② 議論を尽くしたうえで合意形成をするため、生徒会役員をそれぞれの立ち場に分け、討論形式で話合いを進めるべきであった。
- ③ 意見交換を活発にするため、進行役が意見を集約することはせずに、全員が自由に発言できる雰囲気をつくるべきであった。
- ④ 結論に至るまでの時間を短縮するため、進行役が提案をしたり質問をしたりして、内容を焦点化した話合いにするべきであった。
- ⑤ 公平な話合いにするため、進行役が指名する順番に発言を行うことで、生徒会役員全員に平等に発言機会を与えるべきであった。



問5 次の【ポスター案】は、話し合いをもとに相沢さんが作成したボランティア募集ポスターの原案である。この原案の改善点として最も適当なものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

6。

【ポスター案】

## ボランティア募集

「公民館まつり」に栗竹高校生徒会として参加することになりました。そこで、ボランティアとして参加してくれる人を募集します。

【まつりの日時】

11月16日(日) 9:00～16:00

【会場】

栗竹東公民館

【企画内容】

トロッコ 的当てゲーム クイズ

※文化祭でこれらの企画を経験した人たち大歓迎です。

【仕事内容】

・前日までの準備

コースの設計と製作、的当てゲームとクイズの準備

・まつり当日の運営

セッティング、お客さんへの対応、後片付け

※問合せ・申込みは生徒会室まで

みんなで公民館まつりを  
盛り上げましょう！

- ① 中山さん①の発言より、子どもを主役としたイベントであるため、ボランティア参加者の年齢制限について明記する。
- ② 浜口さん①の発言より、参加者に安全を保证する必要があるため、会場近くの医療機関の場所と連絡先を明記する。
- ③ 柿元さん①の発言より、参加者は大会議室への立ち入りが制限されるため、大会議室を使用する団体名を明記する。
- ④ 浜口さん④の発言より、物品の購入費用が必要になるため、参加費が一人につき五百円必要であることを明記する。
- ⑤ 相沢さん⑤の発言より、校外活動許可願を提出期限までに作成するため、申込み締切りは十一月一日として明記する。

## 2

次の文章を読んで、問1～問5に答えよ。

傾向を見るとか、比較をするとか言ったときに、それを「厳密」に行おうとすると、「条件を整える」必要がある、と考える人もいるでしょう。条件を整えて厳密な比較をしないと、比較そのものに意味がなくなる、という考え方です。

たしかに、たとえば、薬の効果を調べる疫学研究においては、同じ条件の人たちを二つに分けて、薬を実際に投与した人と薬を投与しなかった人とを比較します。このとき、その二つのグループのほとんどの条件が違っている(たとえば片方のグループの年齢層が明らかに高いなど)、比べても意味がありません。

しかし、社会学における「比較」では、「条件を整える」かどうかは、あまり本質的な問題ではありません。もちろん社会学の研究でも、条件を整えた「厳密」な比較が必要な場合があります。しかし、多くの場合、社会学における「比較」は、もっと自由でもっと幅が広いものです。

私はソロモン諸島の村の調査をしているとき、自分が生まれ育った日本の社会のあり方と比較をしながらものごとを見ていました。ソロモン諸島の村と日本のコミュニティでは、人口(ア)キボも経済状況も、文化も、何もかも違いすぎて、「条件を整える」どころではありません。しかし、日本社会を一つの参照軸にしながら見ることで、ソロモン諸島の村落社会の分析は進みます。

たとえば、ソロモン諸島で私は、調査を重ねながら「コモンズ」(住民による土地や資源の共同の所有・利用・管理のしくみ)について考えていました。そのとき、私が頭の中で「比較」していたのは、自分が住む札幌市(カ)における公園や都市近郊林でした。ちょうどそのころ学生たちと一緒に札幌で調査を行っていたせいもあり、札幌における住民参加の公園づくりや、都市近郊林を行政と住民が協働で管理している例などを頭に浮かべながら、ソロモン諸島における土地利用、資源利用を調べ、考えていました。

この、一見条件が違いすぎる「比較」が、しかし、私にさまざまな洞察を与えてくれました。「比較」という技法は、厳密な比較から広義の比較までの幅広いものを含むことによって、私たちの「考える」を、より深いものにしてくれます。

同じことは「傾向」や「類型化」「関係」についても言えます。どれも狭く考える必要はなく、広義の「傾向」、広義の「関係」を考えます。

分類、傾向、比較、関係を軸にしながら、いろいろと考える、ということにつきますのです。データを前に、分類、傾向、比較、関係という四つのフレームワークを手がかりにしながら幅広く思考を行い、そこから何か大事なことを導こうとすることが重要です。

このことは、「アブダクシヨン」という論理的思考法について知っておくと、もう少しよく理解できるでしょう。

人間の論理的思考に、「演繹」と「帰納」の二種類があることはよく知られています。「演繹」は、たとえば、「全ての生きている人間はいずれ死ぬ。田

中さんは人間である。ゆえに田中さんはいずれ死ぬ」という三段論法に典型的に現われているように、B 論理方法です。この論理方法は、いつの場合も間違いがない、いわば絶対的な真理を導くことができます。しかし、一方で、演繹は、何か新しい発見があるというものではありません。「田中さんはいずれ死ぬ」というのは、「全ての生きている人間はいずれ死ぬ」という大前提から必然的に導かれるものにすぎず、何か新しく発見しているわけではありません。演繹はこのように、すでに発見されていることの範囲内でものを考える方法です。

一方、「帰納」は、たとえば、多くの犬が吠えているのを見て、「犬は吠えるものである」と考える、というように、C 推論方法です。その点で、帰納は、演繹と違い、何かを発見する推論だと言えるでしょう。しかし、もしかしたら、たくさん事例を集めていくとそのうち吠えない犬が見出されて、「犬は吠えるものである」という発見は間違いだったということになるかもしれません。したがって、帰納は「発見」を促す推論方法でありながら、その論証の「厳密さ」で言うと、演繹に劣ると言わざるをえません。

この「演繹」と「帰納」という人間の二大推論方法に、もう一つ違った推論方法が加わるべきであると考えたのがアメリカの哲学者チャールズ・パーズ（一八三九～一九一四年）でした。パーズはそれを「アブダクション」と呼びました（アブダクションについての以下の説明は、多くを、米盛裕二「アブダクション——仮説と発見の論理」に拠っています）。

アブダクションの例としてよく挙げられるのは、ニュートンがリンゴが落ちるのを見て万有引力を発見した、というあのよく知られた例です。リンゴが落ちるといふ事実から万有引力を発見したのだから、それは帰納ではないかと思う人もいるかもしれませんが。しかし、リンゴが落ちるといふ事実にくら接しても、「帰納」の推論方法では、それは「リンゴは落ちるものなのだ」という一般化までしか行えません。それが万有引力の発見というところまで飛躍したのは、ですから「帰納」とは言えません。ニュートンは、リンゴが落下するという事実を見て、すでにもっていたさまざまな知識や思考を重ね合わせることで、「引力」といふものが存在すると考えられるのではないか、というたいへん大胆な仮説を導き出したのです。これは、「リンゴは落ちるものなのだ」という「一般化（帰納）のレベルではなく、その他の知識やその他の事実、それに深い思考を加えた、まさに「発見」なのです。洞察的な発見、と言ってもよいでしょう。

いわゆる科学的発見というものの多くは、事実にもとづくこうした思考プロセスを経ており、それをパーズは「アブダクション」と呼んで、演繹や帰納とは違う推論方法だと提起しました。アブダクションとは、何らかの事実を前に、それについてさまざまな考察をしながら、合理的と思われる仮説を発見する推論方法です。

論証の「厳密さ」でいうと、アブダクションは演繹や帰納より弱いものであると言わざるをえません。しかし、実のところ、人類による重要な「発見」の多くは、演繹でも帰納でもなく、このアブダクションという推論方法によっています。

社会学が、しっかりしたデータにもとづき、何らかの社会的に大事なことを発見するとなみだとすれば、そこで用いられる思考方法は、まさしくアブダクションである、ということは理解できると思います。

とすれば、さきほどから述べてきた、分類・類型化する、傾向を見る、比較する、関係をさぐるという四つの分析方法は、それ自体が大事なのではなく、それを通してアブダクションを行うことが大事なのです。分類、傾向、比較、関係「から」考える。見えてきた傾向、見えてきた分類、それらについて広義の比較をしたり、広義の関係をさぐったりしながら、さらに、これまで得ている知識や理論とも照らし合わせながら、熟考し、説得力をもつ説明を探す、それが社会的なアブダクションです。

定型的な分析方法に厳密に従うよりも、定型・不定型のさまざまな分析をしながら大事なことを発見すること、つまりはアブダクションのいとなみこそが、社会学における分析です。それはもつと自由で、もつと泥臭い道のりです。自由に、しかし地道に試行<sup>(1)</sup>サクゴして考えるほど、大事なことが見えてくる。それが社会学の「分析」であり「発見」です。

おもしろいことにパスは、アブダクションという推論形式を、人類が、その進化の中で、自然に適應するために獲得した能力である、と考えていたようです。そう言われて考えてみれば、私たちがふだん日常的に行っている推論、たとえば「今日はこんな天気だから、過去のさまざまな経験から言って、明日の天気はこうだろう」といった推論のほとんどはこのアブダクションであると言ってもよいでしょう。人間の日常知、生活知のほとんどは、アブダクションで、パスはそれを合理的かつ重要な推論方法だと言っているのです。

論証の「厳密」さからいうと演繹や帰納より弱い推論方式であるアブダクションは、一方で、より<sup>(注3)</sup>プラグマティックで問題解決型の推論方式だと言えるでしょう。その意味でも、現代の社会学の使命、複雑で多義的な社会の中で大事なことを発見して提言するという使命には最も適した方法だと考えられます。

しかし、アブダクションによる洞察的な発見は、なかなか難しそうに思えます。リングが落下するのを見て万有引力を発見するなど、天才にしかできないのではないか。あるいは人間が一般的に行っている推論がアブダクションだとすれば、まあ何らかの推論はできるのだろうが、それではたいして重要な「発見」などできないのではないか。そんな疑問も当然だろうと思います。

しかし、社会学におけるすぐれた洞察は、その洞察そのもののプロセスを天才的に実行することよりも、むしろ洞察を行うための準備が十分できているかどうかにかかっています。それがすなわち、いかにより意味のあるデータが対話的に集められているか、そしてそれがうまく圧縮できて見やすいかたちになっているか、ということです。小さい分析をしながら対話的にデータが集められ、そのことよって、大事な発見へ向かって順調に進んでいること、そして集められた適切なデータが見通しよく圧縮されていることよって、よいアブダクションができる可能性はぐっと高まります。

(宮内泰介『社会学をはじめ 複雑さを生きる技法』による。)

(注1) ソロモン諸島——南太平洋に浮かぶ数百の島々からなる国。

(注2) フレームワーク——枠組。

(注3) プラグマティック——実践的な。

問1 傍線部(ア)、(イ)に当たる漢字と同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は 7・8。

(ア) キボ

7

- ① キバツな意見が出る。
- ② 演技のキホンを身につける。
- ③ 商売がキドウに乗る。
- ④ 就業キソクを守る。
- ⑤ 合格をキガンする。

(イ) サクゴ

8

- ① 利益をサクシユされる。
- ② サクシを利用した広告。
- ③ 固い岩盤をクツサクする。
- ④ 事業の統合をカクサクする。
- ⑤ サクイのあとが見える。

問2 傍線部A 社会学における「比較」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

- ① 条件が異なる対象の一方を価値判断の基準とすることで、他方の問題点を分析しようとするもの。
- ② もともとの条件が大きく異なる社会をあえて持ち出すことで、比較そのものの無意味さを指摘するもの。
- ③ 厳密なものだけに限らない幅広さを備えることで、より深い思考を私たちにもたらしめるもの。
- ④ データの分析における条件を厳密に整えることで、すぐれた洞察に導くための素地を作るもの。
- ⑤ 一見条件が違いすぎる対象を複数の観点から検討することで、「類型化」という分析手法の前提を導くもの。

問3

空欄

B

・

C

にあてはまるものとして最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は

10

11

。

B

10

- ① すでに認められた大前提から具体的なことについての結論を推論する
- ② 特殊な命題を大前提として、そこから普遍的な命題を導き出そうとする
- ③ 抽象的な概念を持ち込まず、観測される事実だけでもとづいて思考する
- ④ 自明の結論から逆算して大前提を導くように推論を組み立てていく
- ⑤ 観念的な命題の正しさを証明するために物理的な事象を論拠に用いる

C

11

- ① 事例をたくさん集めて結論の説得力を高める
- ② 観測した事実から観測し得ないことを導く
- ③ 普遍的な命題を特殊な命題に転換させる
- ④ 複数の事実から何かしらの一般化をする
- ⑤ 例外の可能性を度外視して展開される

問4 傍線部D まさに「発見」なのです。とあるが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 12。

- ① リンゴの落下という事実の背後に働いているであろう見えない力を記述することを最優先した結果、論証の厳密さを犠牲にするという大胆な方法を選択して、全く新しい仮説の発見に至ったから。
- ② リンゴの落下という具体的な事例をたくさん集めていくことにより、「帰納」という推論方法の厳密さを飛躍的に高めていき、ついに万有引力の存在を証明するという科学的な偉業を成し遂げたから。
- ③ リンゴの落下というありふれた事例から新奇な仮説を導くために、「演繹」と「帰納」という学問的な推論方法に加えて、実生活に即した「アブダクション」という思考方法の導入を提唱したから。
- ④ リンゴの落下という厳然たる事実を出発点としながら、「帰納」の推論方法による概念化の限界を超えるべく自由な発想を最大限に駆使して、万有引力という突拍子もないアイデアを創出したから。
- ⑤ リンゴの落下という事実に基づいた推論を「帰納」によって普遍化するという水準に留めることなく、既有的知識を活用した深い考察を加えて、万有引力という大胆かつ合理的な仮説を導き出したから。

問5 本文の構成についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 13。

- ① データの分析における厳密さを重視する疫学研究の立場に対して異議を申し立てるべく、社会という巨大なスケールの研究対象を扱う際の思考方法としてアブダクションを紹介した上で、個々のデータの緻密さよりも分析全体の整合性の方が有益な発見の可能性を左右することを論証している。
- ② 社会学の研究においては幅広い思考が重要であるという主張を補強するために、演繹と帰納という二大推論方法に加えてアブダクションという思考方法を提示し、実用性という観点からそれが社会学の役割に適合するものであることを述べた上で、すぐれた洞察を得るための条件にも言及している。
- ③ ソロモン諸島と日本社会との比較分析を事例的根拠として幅広い思考の重要性を訴えた上で、そのような定型的な分析方法を支えるものとしてアブダクションという推論方法を取り上げたのち、アブダクションがどのようにしてすぐれた洞察へと繋がっていくのかを順序立てて説明している。
- ④ 社会学の分析においてはそもそも厳密なデータ抽出の実現は難しいということを具体的な事例を通じて確認した上で、演繹や帰納を経てアブダクションに至るといふ社会学研究の方法に関する史的推移の丁寧な紹介をするとともに、すぐれた洞察の可能性を高める条件を一般化して提示している。
- ⑤ ソロモン諸島と日本社会との比較分析という事例を説明し、そこから社会学におけるすぐれた洞察のための条件を導き出すという形でアブダクションの有用性を示し、アブダクションが社会に対して有益な提言を行うのに最も効果的な思考方法であることを身近な例を用いて教示している。



3

河本さんは、言語文化の授業で『栄花物語』を学習し、関連する現代の小説を読んだ。小説を読んで、河本さんは、【文章Ⅰ】の東宮が退位を希望する理由に疑問を感じたため、【文章Ⅱ】を参考にしながら、東宮の退位の理由についてグループで話し合った。次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】、【話し合い】を読んで、問1～問6に答えよ。

【文章Ⅰ】

かかるほどに、東宮<sup>(注1)</sup>などの御心の催しにかおはしますらん、かくてかぎりなき御身を何とも思されず、昔の御忍び歩きのみ恋しく思されて、時々につけての花も紅葉も、御心にまかせて御覽ぜしのみ恋しく、いかでさやうにてもありにしがなとのみ思しめさるる御心、夜昼急に思さるるもわりなくて、皇后宮に、「一生いくばくにはべらぬに、なほかくてはべるこそいといぶせくはべれ。さるべきにやはべらん、古<sup>(注2)</sup>の有様に心やすくてこそあらまほしくはべれ」など、<sup>A</sup>をりをりに聞えたまへば、宮は、「いと心憂き御心なり。御物の怪<sup>け</sup>の思はせてまつるならん。故院のあるべきさまにし据ゑたてまつらせたまひし御事をも、いかに思しめして、やがて御跡をも継がず、世の例にもならむと思しめすぞ。いと心憂きことなり」など、つねには諫<sup>いさ</sup>め申させたまひて、「御物の怪のかく思はせてまつるぞ」とて、所どころに御祈りをせさせたまふ。思しあまりて、若やかなる殿上人<sup>(注2)</sup>申しあくがらすならんとて、いみじう召し仰<sup>おほ</sup>せなどせさせたまふ。

されど殿の御前に、さるべき人して、かやうになんとまねび申させたまふ。殿の御前、「いとあるまじき御事なり。さは、故院の御継なくてやませたまふべきか。いみじかりし世の御物の怪なれば、それがさ思はせてまつるならむ」とのたまはせて、<sup>B</sup>聞き入れさせたまはぬを、「いかで対面せん」とたびたび聞えさせたまへば、殿参らせたまへり。おほつかなき世の御物語など聞えさせたまひて、次に、「なほ身の宿世の悪きにやはべらん、かくうるはしき有様こそいとむつかしけれ。いかでおりはべりなん。おりはべりて、<sup>(注3)</sup>一の院といはれてはべらん」と聞えさせたまへば、「<sup>C</sup>さらにあるまじき御心掟におはします。故院のよろづに御後見仕うまつるべきよし仰せられしかば、みなさ思うたまへながら、えさらぬことの多くはべれば、内にも当代いと幼くおはしませば、よろづ暇なくさぶらひてなん。<sup>(注4)</sup>なかについて、この一品宮<sup>いっぴんのみや</sup>の御ためを思うたまふれば、心のどかに世をも思したもたせたまひておはしまさんこそ、頼もしううれしうさぶらふべけれ。ただこれは、こと事ならじ、御物の怪の思さるるなめり」と申させたまへば、「なでう物

の怪にかあらん、ただもとより遊びの心のみありならひにければ、かくてあるがいとむつかしうおぼえて、心にまかせてあらむと思ひはべるなり。それになほえあるまじく思されば、本意あり、さるべきさまにとなん思ふ」と申させたまへば、「いとふびんなることなり。出家とまで思しめされば、いとことのほかにはべり。さらばさるべきさまに仕うまつるべきにこそはさぶらふなれ。一の院にておはしまさんも、御身はいとめでたきことにおはします。世にめでたきことは、<sup>(注5)</sup>太上天皇にこそおはしますめれ」など、よく御心のどかに聞えさせたまひて、まかでたまひぬ。

〔栄花物語〕による。

(注1) 東宮——皇太子。

(注2) 殿上人——東宮づきの殿上人。

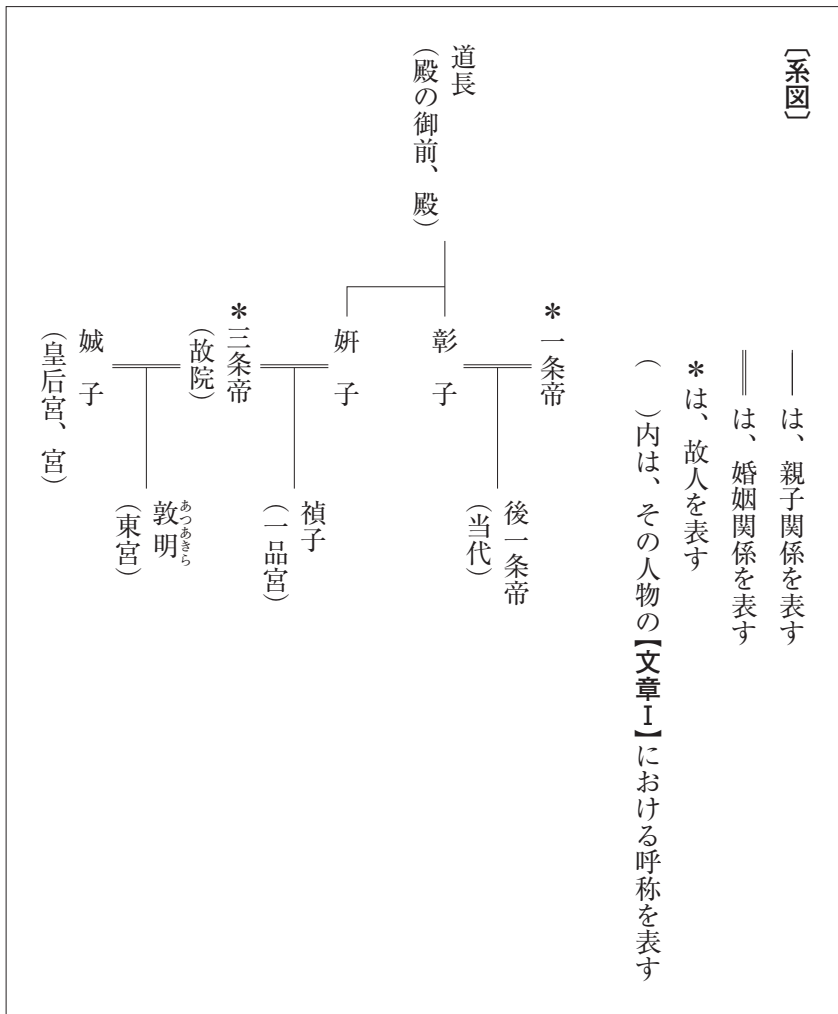
(注3) 一の院——院(上皇)が二人以上いる場合、第一の院を指す。

この時点では院はいないので「最高の院」の意と解する。

(注4) なかについて——とりわけ。

(注5) 太上天皇——天皇の譲位後の称号。

この場合は、それに準じる地位の意として用いられている。



【文章Ⅱ】

能信よしのぶは、藤原道長の子である。三条帝が譲位した後、東宮であった「後一条」(道長の孫)が即位し、新たな東宮には三条帝の子の「敦明」が就いた。ある日、能信は敦明から突然呼び出しを受け、「東宮を降りたい」と打ち明けられた。

「よろしいのでございますな」

しぜんと念を押す言いかたになる。帝王の座がつい眼の先にあるというのに、この人はその前から、みずから立ちさろうとしている。ふと、(注6) 顕信あきのぶのことを話題にしたときのことを思い浮かべたとき、敦明はごくしぜんうなずきかたをした。

「よろしく頼む」

「なぜ、そのようなことを思いたたれましたので？」

「語ってもせんないことさ」

敦明は微笑している。

「とにかく東宮を辞めたい。それだけさ」

頭に浮かぶのは、二年前の三条と道長の息づまるような対決だ。(注7)

——こんなことになるんだったら、あのすさまじい争いは何のためだったのか。

眼の前の敦明はそれに応えるように首を振っている。

「いや、そうじゃないんだ」

「えっ」

自分の心を汲みとっているのか、ときよつとしたとき、

「話したほうがよさそうだな」

敦明は脇息にもたれて頬杖をついた。

「本当をいえば、東宮になってもならなくてもどっちでもよかったのさ。いや、なりたくない、と考えたこともあった。ではなんで、今まで辞めなかったのか、というのか」

それはな、とゆっくりした口調で彼は言った。

「父親のおんためさ」

「父親の？」

「そうだ。父親は、俺を東宮にしようと必死だった。それだけが生きがいだった」

「……………」

「それと知りながら、およろください、私は東宮になりたくはないのです、とはよもや言えまい」

「なるほど」

「でも、父親が世を去られたいま、俺の役目はすんだのさ」

そうか、そういう考えかたもあるのか。これまで見たこともない風景が、ふっとひらけたように能信には思える。

「それに、位についたとしてもなあ」

(注8)

顕光は愚鈍だし、いったい誰が本気で補佐してくれるというのか、と敦明の眼は問いかけている。そんな中で泳いで何が面白いのか、と。

——うむ、む……………」

能信は心中で唸っている。表側から見れば、敦明は戦わずして道長の軍門に降ったことになる。意気地なし、腰抜け、と人は言うかもしれない。

が、そうした侮辱を歯牙にもかけない強さが、この人にはある。

——<sup>E</sup>飄々たること風の<sup>D</sup>ごとくか。

(永井路子『望みしは何ぞ』による。)

(注6) 顕信 —— すでに出家している能信の兄。

(注7) 三条と道長の息づまるような対決 —— 敦明の父三条帝と道長の間に起きた、皇位をめぐる政治的な争いのこと。

(注8) 顕光 —— 敦明の側近の一人。

【話合】

河本さん 【文章Ⅰ】では、敦明が退位を希望する理由について、「A」と説明しているけど、私は違うと思ってるんだよね。  
安藤さん なぜそのように考えたの。私は【文章Ⅰ】に書いてあるとおりだと思うけどな。

河本さん 【文章Ⅰ】は『栄花物語』からの出典でしょ。言語文化の授業でも学習したけど、『栄花物語』は藤原氏の繁栄を賛美する立場で描かれた作品だから、道長と対立する敦明を悪く描いているかもしれないと考えたの。

坂本さん なるほど。それで、『栄花物語』とは異なる視点で描かれた小説を読んでみたんだね。

安藤さん でも、【文章Ⅱ】でも「とにかく東宮を辞めたい。それだけさ」と言っているよね。やっぱり、そんなに深い話ではないと思うんだけど。

河本さん 【文章Ⅱ】で敦明は、「B」と言っているでしょ。この発言からは、東宮位に就いたのは父の強い要望に従っただけで、現在の自分が置かれた状況を客観的に見つめた上で判断を下す敦明の様子が読み取れる。深い話だと私は感じたよ。

安藤さん なるほど。異なる視点で書かれた作品を読み比べるとおもしろいね。

坂本さん そうだね。ただ、小説はあくまで原典となる作品に作者の解釈を加えて書かれたものだから、参考程度にするのがいいんじゃないかな。

河本さん うん、そうだよね。でも、もう一つだけ言わせて。出家というのは俗世との関わりを一切絶つことを意味するから、【文章Ⅰ】の二重傍線部で、敦明は相当な覚悟をもって出家の意志を表明しているはずんだけど、【文章Ⅰ】には、出家の意志を固めるに至るまでの敦明の内面が、ほとんど説明されていない。だから、はじめに【文章Ⅰ】を読んだとき、二重傍線部の発言が唐突に思えて…。でも、【文章Ⅱ】を参考にするので、敦明の内面を少しはつかむことができたし、二重傍線部の発言についても納得がいったよ。

安藤さん へえ、具体的にはどうということなのかな。

河本さん 【文章Ⅱ】では、敦明には有能な側近がないことが語られ、それに対する敦明の思いも示されている。しかも調べてみたら、そのとき、帝だった後一条帝は敦明よりも十四歳も年下だったらしいよ。敦明は、自分はいったい、いつ即位できるのだろうかと考えていたんじゃないかな。これらのことと【文章Ⅰ】の二重傍線部を考え合わせると、「C」と捉えることができそうなんだ。

坂本さん なるほど。小説の描写を参考にして、古文を読んだときの違和感を解消することができたんだね。

問1 傍線部A をりをりに聞えたまへば とあるが、これに対して皇后宮が具体的にとった行動として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

- ① 東宮についた物の怪をはらうための神仏への祈りを若い殿上人も行うように申しつけ、自分は東宮に関する意見を殿に直接伝えた。
- ② 東宮を惑わす物の怪をはらうための神仏への祈りを行うよう各所に申しつけ、東宮をそそのかしているのではないかと若い殿上人を叱責した。
- ③ 東宮から物の怪を退散させるための神仏への祈りを随所で行い、若い殿上人に対して自ら積極的に接することで宮中の新しい情報を得た。
- ④ 東宮につく物の怪を退散させるための神仏への祈りを各所で行わせながら、若い殿上人には相談せず自分の意見を東宮に直接伝えた。
- ⑤ 東宮から物の怪が離れるような神仏への祈りを若い殿上人に行うように申しつけ、彼らがしっかりと責務を果たすよう殿に助力を頼んだ。

問2 傍線部B のたまはせ について、敬語の種類と敬意の対象の組合せとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- |   |             |              |
|---|-------------|--------------|
| ① | (敬語の種類) 尊敬語 | (敬意の対象) 殿の御前 |
| ② | (敬語の種類) 尊敬語 | (敬意の対象) 東宮   |
| ③ | (敬語の種類) 謙讓語 | (敬意の対象) 皇后宮  |
| ④ | (敬語の種類) 謙讓語 | (敬意の対象) 殿の御前 |
| ⑤ | (敬語の種類) 丁寧語 | (敬意の対象) 東宮   |

問3 傍線部C さらにあるまじき御心掟におはします。 について、(1)、(2)に答えよ。

(1) 現代語訳として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 16。

- ① さらに厳しい決めごとでございます。
- ② 到底考えられないお心細さでございます。
- ③ 本当に許されない決まりだと思われます。
- ④ 全く思いも寄らない発想だと存じ上げます。
- ⑤ 決してあつてはならないお考えでいらつしやいます。

(2) このように殿の御前(道長)が述べた理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 17。

- ① 敦明の判断は正気を失った状態の気の迷いであり、敦明の将来を考えると必ず帝になれる地位にいるのがよいと考えているから。
- ② 故院が敦明を補佐しよう当代に言い残しているために、敦明が東宮の地位を離れると政治に混乱が生じると考えているから。
- ③ 一品宮のこの先の人生を考えると敦明が後ろだてになることが最善であり、今の地位にとどまることがよいと考えているから。
- ④ 故院から敦明の後見を任された自分としては、何とかして敦明を立派な天皇に育てあげて故院の恩に報いたいと考えているから。
- ⑤ 幼い帝が成人して国を治めることができるようになるまで、敦明には東宮として帝を守り支える責任があると考えているから。

問4 傍線部D 歯牙にもかけない の本文中での意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

- ① 無視して取り合わないこと
- ② 受け入れた上で否定すること
- ③ 不平不満を口にしないこと
- ④ 意地を張って意見を聞かないこと
- ⑤ 大人しく負けを認めること

問5 傍線部E 飄々たる について、能信は敦明をどのような人物として捉えているか、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 19。

- ① 論理的に物事を考え合理的な判断を下すことができる、常に冷静な人物。
- ② 困難な状況になると立ちすくんでしまう、意気地のない人物。
- ③ 周囲の思惑に翻弄され自分の意思で進むことができない、弱気な人物。
- ④ 常識的な価値観にこだわらず行動できる、つかみどころがない人物。
- ⑤ 他人に関心を示すことが少なく、自分の感情を表に出すことのない人物。

問6 【話し合い】について、(1)～(3)に答えよ。

(1) 【話し合い】の空欄 A に入る内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- ① 敦明は、周囲は自分に気を使うばかりで、本音で話すことができる相手がないという状況に虚しさを感じたから
- ② 敦明は、詩歌や音楽の技術をさらに向上させるため、自然の中に身を投じて風流な生活を送りたいと思っているから
- ③ 敦明は、常々自由気ままな立場であることを望んでいたため、堅苦しい立場にいることに対して煩わしさを感じているから
- ④ 敦明は、父の願いのために我が身を犠牲にしたが、父が亡くなった今では東宮にとどまる理由がなくなったから
- ⑤ 敦明は、東宮になれば何でもできると考えていたが、実際は何もすることができず自分の無力さを思い知ったから

(2) 【話し合い】の空欄 B に入る敦明の発言として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

- ① 東宮になってもならなくてもどっちでもよかったのさ
- ② 父帝のおんためさ
- ③ それだけが生きがいだった
- ④ 俺の役目はすんだのさ
- ⑤ 位についたとしてもなあ

(3) 【話し合い】の空欄

C

に入る内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

22

。

- ① 敦明にとって出家とは、力を失った自分が父の願いをかなえるための最終手段であった
- ② 敦明にとって出家とは、現状を打破し東宮の威厳を世に知らしめるための最終手段であった
- ③ 敦明にとって出家とは、多くの人を犠牲にして権力を得たことを償うための最終手段であった
- ④ 敦明にとって出家とは、政治の舞台から離れた自分が再起を図るための最終手段であった
- ⑤ 敦明にとって出家とは、自らの人生を自分自身の手で切りひらくための最終手段であった

4

次の文章を読んで、問1～問3に答えよ。なお、設問の都合で送り仮名を省いたところがある。

蓋嘗(注1) 觀於富人之稼乎。其田美(注2) 而多、其食足有餘。其田美而多、則可以

更かはるがはる休メテ而地力得完まつたキヲ、其食足而有餘、則種(注3)之常不後時、而斂(注2)之常及(注2)其熟(注2)

故富人之稼常美、少(注3)秕而多實、久藏而不腐。

今吾十口之家、而共百畝之田、寸寸而取之、日夜以望之。鋤耰・銓艾、相尋

於上者、如魚鱗、而地力竭矣。種之常不及時、而斂之常不待其熟。此

豈能復有美稼哉。

(『古文真宝』による。)

(注1) 稼——穀物を植え、取り入れるまでの一連の行動。また、取り入れた農作物そのもの。

(注2) 斂——取り入れること。

(注3) 秖——穀物の実の入らないもの。

(注4) 十口之家——十人家族の家。

(注5) 畝——古代における田の広さの単位。

(注6) 鋤耨・銜艾——すきで掘り起こして種の上に土をかけ、雑草を鎌で刈り取ること。

(注7) 如魚鱗——次々に重なり合って続くさま。

問1 傍線部A 則の読みとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

23

① かつ

② あへて

③ つひに

④ むしろ

⑤ すなはち

問2 傍線部B 故富人之稼常美、少秕而多實、久蔵而不腐。の理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 24。

- ① 多くの田から作物を一度に収穫することができ、その作物を売った収入で作物の保存を行う蔵を建てることのできるから。
- ② 田を休ませながら土地の力を落とさず作物を育てることができ、適切な時期に種まきや収穫を行うことができるから。
- ③ 豊かな田から異なる数種類の作物を収穫することができ、立派な作物を生み出すよい種を手に入れることができるから。
- ④ 多くの人を雇い作物を効率よく収穫することができ、種まきや食料の収穫の準備を長い時間かけて行うことができるから。
- ⑤ 田を次々に替えながら絶え間なく作物を育てることができ、一年中継続して新しい作物を大量に収穫することができるから。

問3 傍線部C 豈能復有美稼哉。の現代語訳として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 25。

- ① どこでまたよい作物を収穫すればよいだろうか。
- ② どのようにしてまたよい作物を作ればよいだろうか。
- ③ どうしてまたよい作物など収穫することができようか。
- ④ なんとまあよい作物を収穫できる方法であろうか。
- ⑤ 一体だれがまたよい作物を収穫できるのか。

